

平成 28 年度

産業文化部の運営方針

<部の構成>

産業振興室商工振興課、産業振興室販わい交流課、
産業振興室農業振興課、文化生涯学習室

<担当事務>

- (1) 商工業及び雇用対策、就労支援に関すること。
- (2) 都市交流及び観光に関すること。
- (3) 農業に関すること。
- (4) 生涯学習の推進及び文化振興に関すること。

<部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	58名
再任用職員	11名
任期付職員	1名
非常勤職員	42名
合計	112名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

産業文化部は、商工業、観光、農業という産業と文化・生涯学習の振興を担当しており、いずれも「豊かで誇りある枚方」を実現する上で、欠かせない施策分野です。

市内産業の振興は、地域での雇用創出や税収確保の面からも重要であり、創業支援をはじめとした新たな産業の創出や商工業の活性化に向けた取り組みを行います。

さらに、農業後継者の育成と農業経営に必要な農地確保など、まちづくりの観点から「農」を守る取り組みを進めます。

また、文化芸術の拠点である総合文化施設の整備に取り組むとともに、文化芸術振興計画を策定し、本市で培われてきた文化・芸術の土壌をさらに発展させていきます。

これらを効果的に進めるため、市民や関係団体、事業者等と連携・協力しながら取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標

老朽化した市民会館に代わり、集客と販わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、総合文化施設を整備します。

総合文化施設整備計画では平成 31 年度中の開館となっていますが、建設費の高騰対応等により遅れが生じているため、できるだけ早期の整備に向け、取り組みます。

平成 28 年度の 取り組み

設計業務について、平成 28 年 9 月を目途に基本設計をまとめ、実施設計を進めます。

また、総合文化施設の事業用地の買い戻しを行うとともに、施設運営の方針となる「施設運営計画」を策定します。

平成 28 年度当初予算：7,455,107 千円

(2) 市内中小企業と若年未就職者の雇用マッチング

重点施策・事業 における目標	雇用環境は改善傾向にあるものの求職者の大企業志向は強く、中小企業の人材不足は深刻化しています。一方、早期離職や非正規雇用など安定的雇用に就けていない若年者も相当数見込まれるため、市内中小企業と若年者との雇用マッチングに向けた施策を推進します。
平成 28 年度の 取り組み	市内の中小企業における人材不足の解消と若年者雇用の促進を図るため、求職前段階から就職、さらに就職後の定着支援までを一貫とする産業人材の育成確保支援策を実施します。 平成 28 年度当初予算：7,620 千円

(3) 新規就農者への支援

重点施策・事業 における目標	若い世代の農業後継者を育成している「都市農業ひらかた道場」の修了者を含め、新規就農者が安定した経営ができるよう、関係機関と連携してサポートする仕組みを構築します。
平成 28 年度の 取り組み	円滑な就農・定着化を図り、将来の担い手となる農業者を育成するために、農業を生業とする新規就農者に対して就農初期における農業経営安定化支援（設備投資等への補助金交付）、就農後のサポート支援（サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援）、農地確保・集積支援（地主への奨励金交付）を実施します。 平成 28 年度当初予算：11,100 千円

(4) 文化芸術振興計画の策定

重点施策・事業 における目標	平成 26 年 4 月に施行した枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画の策定に取り組みます。 枚方市文化芸術振興審議会において、拠点施設となる総合文化施設の整備状況をふまえ市民の文化芸術活動の機会の充実、障害者等だれもが活発に文化芸術活動を行うことができる環境の整備、文化芸術の振興を支える人材の育成など、条例に規定する基本施策を総合的に推進するための計画を策定します。
平成 28 年度の 取り組み	枚方市文化芸術振興審議会において、引き続き、文化芸術振興計画策定に向けた調査・審議を行い、作成した素案について広く市民の意見を聴取し、計画を策定します。 平成 28 年度当初予算：404 千円

(5) (仮称) 天の川プロジェクトの実施

重点施策・事業 における目標	枚方市と交野市は、七夕伝説ゆかりのまちであることから、両市に共通する「天の川」という地域資源を活用し、まちの魅力を高め多くの観光客を本市に呼び込むことを目的に、京阪電車交野線とその沿線を基軸に各種イベントを開催します。
平成 28 年度の 取り組み	京阪交野線の名称を天の川にちなんだ愛称とし、両市の公認キャラクター「ひこぼしくん」「おりひめちゃん」など、七夕をイメージしたラッピング電車を走らせるとともに、沿線でのスタンプラリーや体験型ツアーなどのイベントを実施します。
	平成 28 年度当初予算：9,050 千円

3. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 本市の文化芸術事業を担っている（公財）枚方市文化国際財団については、総合文化施設の運営主体の検討とあわせて、今後のあり方を検討する。 特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、団体に対して早期の経営プラン策定を促し、その進捗管理を行う。
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の 2 複合施設（蹉跎・牧野）に導入している指定管理者制度について、導入状況の検証を図った上で、平成 30 年度に蹉跎・牧野を含む複合全 6 施設に指定管理者制度を導入する。

(2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
イベント等の効率的な運営について	年間を通してイベント等の事業が多いため、運営手法や体制を検討し、より効率的な運用に努める。
効率的な事務執行について	業務開始時に一日の取り組む事務執行の予定を設定し、業務終了時に達成度を確認することで、目標をもった効率的な事務遂行に努める。

4. 予算編成・執行

- ◆改革・改善サイクル等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

5. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力を高めていくとともに、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けた取り組みも促進しながら、業務の円滑な遂行に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブックなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めます。また、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。